目的や課題に応じて情報を活用できる児童の育成

萩市立越ヶ浜小学校

１．学校紹介

所在地　山口県萩市大字椿東６０８８番地
児童数　１８９名
教員数　１２名
学級数　７学級

２．研究のねらい

（１）目的や課題に応じて必要な情報を主体的に収集し、それをもとに、適切な判断や豊かな表現ができる児童を育成する。
（２）テレビ会議や電子メール、インターネットなどを利用して、情報を交換したり、発信したりできる児童を育成する。

３．研究の経緯

＜平成１２年度＞
○　児童のコンピュータ操作技能の育成
○　テレビ会議システムの導入とその活用についての実践研究
○　電子メールを利用しての他校との情報交換による交流活動の実践研究
○　ホームページの開設
○　指導者としてのコンピュータ操作技能研修およびコンピュータリテラシーの育成

＜平成１３年度＞
○　テレビ会議による他校との交流活動についての実践研究
○　コンピュータネットワーク活用に関するガイドラインの作成
○　各学年におけるコンピュータ活用のめあての作成およびそれをもとにしたコンピュータ操作技能の育成
○　ホームページを通じての情報発信

＜平成１４年度＞
○　テレビ会議による他校との交流活動についての実践研究
○　インターネットの効果的な情報収集と情報活用能力の育成
○　各学年の目的に応じたコンピュータ操作技能の育成
○　ホームページを通じての情報発信

＜平成１５年度＞
○　テレビ会議による他校との交流活動についての実践研究
○　インターネットの効果的な情報収集と情報活用能力の育成
○　各学年の目的に応じたコンピュータ操作技能の育成
○　ホームページを通じての情報発信

４．研究の内容

【実践事例１】

（１）　学年及び教科等　　第５学年　総合的な学習

（２）　題材名　LET‘S・TRY！米作り（稲の成長の様子を比べよう）

（３）　ねらい

自分たちの育てた稲と他の学校の人の育てた稲の成長の様子を比べることで、稲の育ちやお世話の仕方について考えることができる。

（４）　授業内容

学　習　の　流　れ	指　導　上　の　留　意　点
1　相手校とあいさつをする。 	○　はじめて交流する相手なので自己紹介をし、話しやすい雰囲気を作る。
2　それぞれの学校の取り組みの様子や稲の成長の様子を紹介し合う。 	○　デジカメで撮影した稲の様子をプリントアウトして見せ合うことで、視覚的に成長の様子がとらえられるようにする。
3　工夫しているお世話についての情報交換をする。 	○　水の管理やすずめ対策など、困っている問題について質問したり、工夫した取り組みについて紹介したりして、お互いの情報を共有できるようにする。

【実践事例２】

（１）　学年及び教科等　　第５学年　社会科

（２）　題材名　わたしたちの生活と情報

（３）　ねらい　　情報の伝達の経験や身近な情報機器の利用、施設の見学や資料の活用によって、調べたり、表現したりして、情報を生かしていく技能を身につけるとともに、情報社会のなかでの自分のあり方を考えていく態度を身につける。

（４）　授業内容

◇小単元「情報の働き－情報を送ろう－」でのホームページ作り

学　習　の　流　れ	指　導　上　の　留　意　点
１　発信する内容について、具体的な計画を立てる。	○　下書きをし、具体的なイメージ（扱う写真や文章）が持てるようにする。 ○　イメージをつかむために、他の学校のホームページを参考にする。
２　必要な画像をデジカメで撮影したり、情報を収集したりする。 	○　デジカメの取り扱い方や写真を撮る場合のマナーを知らせる。
３　ホームページの作り方についての説明を聞き、自分のページを作る。 	○　著作権などについて説明し、写真やイラストなどを扱う場合に気をつけるようにする。 ○　作成手順について全体に分かりやすく説明するために、液晶プロジェクターを利用する。 ○　Ｔ・Ｔで授業を行う。 ○　自分の思いが作成するページに出せるようにする。 ○　作成の様子を、参観日を利用して保護者にも見てもらうようにする。
４　作ったページをホームページに載せ、発信する。	

５．研究の評価・課題

（１）インターネットを活用しての情報の検索、収集

調べ学習の１つの手段としてインターネットを活用してきた。ネット上には非常にたくさんの情報があるので、最初は、どんなことでも、すぐにインターネットを利用して調べようとする傾向が見られた。しかし、実践を進める中で、少しずつ自分たちで手段を選択できるようになり、目的に合った調べ方の１つとして活用できるようになってきた。また、収集した情報を自分なりにまとめ直して利用することが大切であることにも気づいてきた。今後は、さらにインターネットを活用し、目的に合った有効な情報をすばやく見つけたり、それを自分の言葉でまとめたりする活動を進めていくとともに、ネット上で情報を扱うルールについて、子どもたちの意識を高めていくようにしたい。

（２）電子メールやテレビ会議を利用した他校との交流

教科学習や総合的な学習の時間の取組みなどで、同じような取組みをしている他の学校とテレビ会議や電子メールでの情報交換を通して交流を行った。子どもたちは、他の学校の取組みの様子に刺激を受け､より意欲的に活動を行うことができたと思う。しかし、テレビ会議をするにあたっては、事前の打ち合わせや準備、システムの調整に、他の形式での交流以上の時間がかかるなど、問題も多かった。また、当日も音声がとぎれたり、画像も鮮明に送受信できないなど不安定なこともあり、システムの改良が必要だと思う。

（３）ホームページを作成しての情報の発信

教科や総合的な学習の時間のまとめなどを、ホームページを利用して発信する実践も行ってきた。この取組みを通して、子どもたちは、情報（自分たちが調べたことや作成したものなど）を人に伝える楽しさを感じたようである。作り方が分かると、次から次にいろいろなアイデアを出しながら取り組んでいた。作成にあたっては、著作権や肖像権などについての指導を行ってきた。しかし、今後も引き続いて指導していくことの必要性を強く感じている。

６．研究成果物の内容と普及方法

本校のホームページを通して、実践の様子や児童の作品などを紹介している。また、テレビ会議の実践等については、校内研修や情報教育の研修会で紹介したりしている。

７．まとめ

平成１２年度から本年度までの学校インターネットⅡでの取組みにより、子どもたちのコンピュータ活用の技能も情報活用能力も格段に進歩し、大きな成果を上げることができた。そして、何よりも、子どもたちがコンピュータを身近なものとしてとらえるようになってきたことをうれしく思う。

このような機会を与えていただいたことに、心より感謝いたします。